

平成 26 年度 第 2 回新技術評価検証委員会議事録

日 時：平成26年10月10日(金) 午後7時00分～9時00分

場 所：パレスサイドビル9階マイナビルーム9 F-E
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル
TEL：03-6267-4550

議題

1. 報告事項
(ア) 岩崎理事より理事会報告

2. 審議事項
(ア) 前方低侵襲手術登録用紙の検討（資料1-4）
(イ) 理事会報告を踏まえた今後の進め方

3. その他

上記議題に関して、第2回新技術評価検証委員会が開催された

出席： 川上紀明委員長（名城病院）伊東学（北海道医療センター）、中村雅也（慶応義塾）、西良浩一（徳島大学）、武政龍一（高知大学）、水谷 潤（名古屋市立大学）、藤林俊介（京都大学）

欠席： 朝妻孝仁（村山医療センター）、永島英樹（鳥取大学）

以下議事録

1：報告事項

(ア) 岩崎理事からの理事会報告

- 1：第1回本委員会での審議事項をもとに理事会に諮られた、“XLIF, OLIFに対する全例調査”は基本的に理事会の承認が得られた。
- 2：全例登録にむけた、法的問題を整理検討すべきとの意見があった。
- 3：全例調査を行うにあたり、事務局での人員確保も基本的方向性として承認された。予算は調査項目と症例数により変動する。具体的

には調査用紙を用いたシステム、WEB登録システムを構築することが考えられる等の意見がでた。

4：初期症例ならびに前方手術経験が少ない医師での合併症が予測されるが、調査項目に前方経験数を加えた方がよい、チェックリストのみで自由表記は省いた方がベター等の意見があった。

2：審議事項

(ア) 前方低侵襲手術登録用紙に関する検討

1：藤林委員、水谷委員にて作成されたひな形に基づき、調査用紙に関して具体的検討がなされた。

2：重要事項として、従来法の前方手術経験数を入れるべく、修正を行うこととなった。

自由表記の是非、要否、はWEBシステム構築における検討課題となった。

3：上記審議事項に基づき修正した最終版を作成し、委員閲覧承認後、次回理事会へ諮る。

(イ) 理事会報告を踏まえた今後の進め方

1：理事会での承認、ご意見に基づき、全例調査を目指し、2015年3月までに施行された症例に関しては調査用紙を用いた後ろ向き調査とし、2015年4月以降はWEB登録システムを構築して3年間を目安に前向き全例登録を行う。

2：上記実現のためには、予算に関する調査検討が必要。

3：予算検討後、次回理事会へ諮り、4月からの前向き調査へ向けたシステムを早急に構築する必要がある。

4：法的事項の整理検討がなされれば、販売メーカーへも何らかの協力を要請する必要がある。

以上、報告、審議、検討事項に関して出席委員の承諾がえられ、閉会となった。 以上 (文責：水谷 潤)